

## 「子宮頸がん大学連携セミナー」開催報告

子宮頸がんは、近年、20代～30代の若い女性に増えていますが、この世代の方が、子宮頸がんに関する正しい知識を持つ機会が少ないのが現状です。

そこで、愛知県では、大学生の皆さんに正しい知識を持っていただくため、平成26年度から大学と連携し、セミナーを開催する取組を始めました。平成29年11月に、愛知教育大学において下記のとおり実施しました。

記

開催日時 平成29年11月1日(水) 午後1時20分～午後2時50分

開催場所 愛知教育大学 教育未来館 多目的ホール

主催 愛知県・愛知教育大学

参加者 上記大学の学生、教職員等 79名



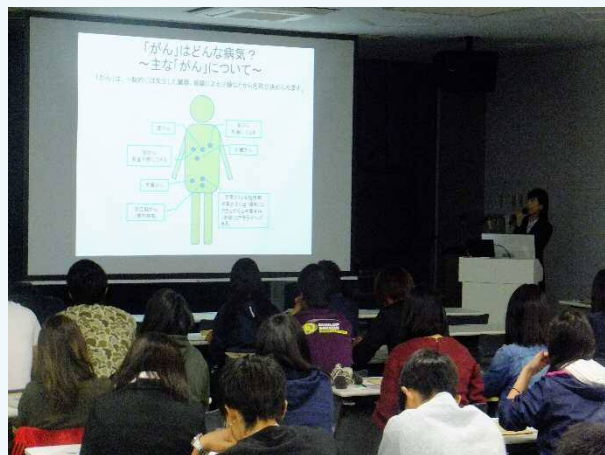
### 講演① 知ろう！考えよう！がんについて

#### <講師>

愛知県がんセンター研究所 疫学・予防部  
主任研究員 中川 弘子 先生

#### <内容>

中川先生の講演では、前半にがんはどのような病気か、生活習慣によるがんの予防などがんの基礎知識についてお話いただくとともに、後半には20代～30代の若い女性に増えている子宮頸がんの原因、予防法、早期発見のためにがん検診を受けることの大切さなどをご説明いただきました。



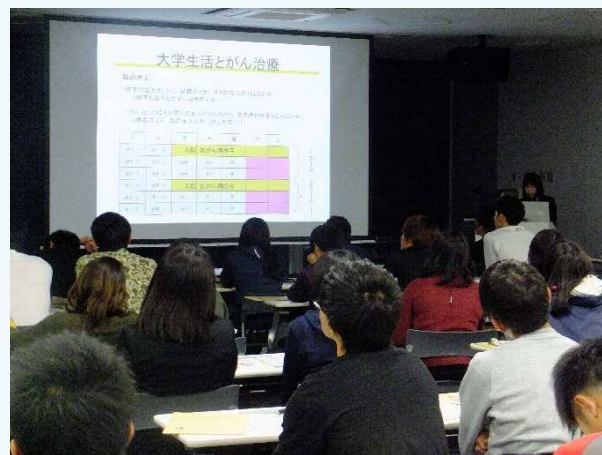
### 講演② 大学生でがんを経験して

#### <講師> 山下 芙美子 さん

大学2年生でがんに罹患され、現在は社会保険労務士としてご活躍されています。

#### <内容>

がんの体験者である山下さんから、がんと診断され、学生生活や就職、結婚など将来へ抱いた不安や、就職活動で困ったこと、また、がんになってもしっかりと働ける、がんを抱えて生きることは特別なことではないなど、ご自身の体験、思いをお話いただきました。



#### <参加者アンケートより>

\*心のどこかで自分は大丈夫と思っていましたが、大学生でがんになった方のお話を聞き、がんはとても身近なものだと感じました。

\*まずは自分の生活習慣を見直し、検診を定期的に行うことが大切だと思いました。

\*子宮頸がんについて、男性だから関係ないと思っていましたが、自分にできることも多くあるのではないかと感じました。

⇒ 子宮頸がんの認知度に関するアンケートでは、参加者の82%が「子宮頸がんの主な発生原因がHPV感染であること」を知っておらず、また、79%の方が「子宮頸がん検診が20歳から推奨されていること」も知らない、という結果でした。

愛知県では、今後も、このようなセミナーを実施し、若い世代の方に、正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたいと思えます。